

# 平成27年度 丹後広域振興局 運営目標

## 運営目標

1	「大交流」の時代に向けて、観光入込客数660万人、観光客一人当たり消費額6千円を目指し、新たな「海の京都観光圏」を形成し観光誘客を図ります。	
計画区分	丹後地域振興計画	第1①「丹後地域の活性化を牽引する観光振興」
達成手段 (数値目標)	①	2市2町の戦略拠点において策定されたマスタープランの実現に向けた取組を支援するとともに、「交流」の基盤となる戦略拠点をつなぐ事業を実施します。 <「海の京都景観事業」を活用した関連施設の外装改修等景観形成支援 15施設以上(26実績13件)> 「海の京都」隠れた魅力発掘・発信事業 <体験受入事業者と連携した知られざる発掘・再発見の体験プログラム 10メニュー(27新規)> <中京圏の旅行会社や雑誌社へのファミトリップ・商談会の実施 旅行会社5社、雑誌社3社(27新規)>
	②	「海の京都博」を7月～10月に開催し、「海の京都」の魅力を全国に発信するとともに、府北部地域の活性化を図ります。 <観光地域づくりマネージャーと連携した滞在型ツアーの実施 5ツアー以上(27新規)> クルーズ船の伊根町での寄港体制システムの確立(にっぽん丸の伊根町初寄港)
	③	インバウンド対策を推進します。 <各市町観光案内所でのwi-fi整備 4箇所(26実績 0箇所)> 商工会議所、商工会と連携した外国人観光客の受入環境整備推進(免税店拡大、wi-fi環境の整備など) <海外からの教育旅行インバウンド受入のための旅行会社やメディアなどのファミトリップ実施 2回 ツアー実施 1回(26実績 学校交流1回、ファミトリップ等 3回)>
	④	海の京都観光推進協議会と連携して、海の京都ならではの「おもてなし精神をもった」観光ガイドやサービスの提供ができるよう、人材育成を図るエリア全体の観光をマネジメントするシステムを構築します。 <「海の京都博」に向けた観光事業者(宿泊業者・土産物店)等に対するおもてなし研修の実施 4市町開催 参加者数 200人(26実績 約440人)> コンセプトツアー(戦略拠点)のトップガイドの能力向上と新たなガイド養成・確保 全観光案内所における観光圏内の案内ができるよう人材育成と案内所強化 観光客等に対し丹後食材の魅力を紹介するファミリーブランドパンフ等の活用
	⑤	「海の京都」の歴史の拠点づくりを推進します。 丹後地域の歴史・文化発信の拠点施設となる「丹後歴史文化博物館(仮称)」として全面改築するための具体的な計画の策定 <「海の京都」丹後の歴史的魅力を紹介する特別展「大海原に夢を求めて」ほか、4企画展等の開催(26実績 企画展等 3回)>
	⑥	山陰近畿自動車道・野田川大宮道路の開通に向けた地域活性化策を検討します。 「海の京都応援PT会議」の開催など平成28年度開業にあわせた丹後地域における集中的な取組の検討
	⑦	山陰近畿自動車道・大宮峰山道路(H27～直轄権限代行)の事業促進を支援します。 インターアクセス道路の整備(主体・手法等)について、京丹後市とともに検討に着手
	⑧	海が見える牧場「碓高原牧場」を観光資源として活用し、観光客の増加を目指します。 <観光客数 30,000人(26実績 26,387人)> <畜産ふれあいファーム開催 1回(26実績 1回)> <園児・児童・学生の畜産体験学習の受入 350人(26実績 348人)>

運営目標

2 競争力のある「ほんまもん京ブランド」品目の農産物出荷額3.8億円を目指すとともに、丹後産コシヒカリの特A評価を連続して取得するなど、丹後の強みをいかした産品を増強します。

計画区分 丹後地域振興計画 第1①「丹後地域の活性化を牽引する観光振興」

達成手段 (数値目標)	①	丹後産コシヒカリの特A評価の継続と、これを実現させる産地全体の技術的底上げを図ります。 <丹後産コシヒカリの特A評価を史上初の5年連続取得し、通算13回達成 (㊤実績 特A)> <特A評価につながる、良食味共励会出品の食味値80以上の割合 50% (㊤実績 30%)>
	②	地域を上げた環境に優しい農業を推進します。 <丹後地域水稲有機農業研究会会員数 13人(㊤実績 10名)> <エコファーマー数 累計343人(㊤実績 累計318人)>
	③	みずな、九条ねぎなど京のブランド製品の生産拡大を推進します。 <年間出荷額 3.8億円(㊤実績 3.37億円)> <京たんご梨ブランド出荷率 32%(㊤実績 9.3%)> 夏季の海水浴シーズンの新たな食材として、早生の高品質なしを提供 九条ねぎの栽培マニュアルを策定し、開発農地で安定的に栽培するための技術を確立
	④	京都府オリジナル酒米品種の「祝」と「京の輝き」について、京都酒米振興プロジェクト丹後部会の活動を通じて、酒造業界からの要望数量を満たすよう生産拡大します。 <作付面積 [祝]67ha(㊤実績 65.9ha) [京の輝き]170ha(㊤実績 76ha)> <生産量 [祝]240t(㊤実績 243t) [京の輝き]870t(㊤実績 412t)>
	⑤	丹後地域の魅力ある「食」を安心・安全かつ高品質で提供するため、ブランド水産物の生産拡大を推進します。 <「丹後とり貝」「丹後ぐじ」「育成岩がき」の販売総額 190百万円(中丹後地域を含む)(㊤実績 108百万円)>

3 地域一体となって丹後の食の魅力の戦略的PRや地域ブランディングを進めます。

計画区分 丹後地域振興計画 第1①「丹後地域の活性化を牽引する観光振興」

達成手段 (数値目標)	①	「丹後といえば、美味しいものを食べに行くところ！」のイメージ定着に向け、関係団体や事業者と連携し食の魅力づくりを推進します。 各種イベント等での「長寿御膳・弁当」の提供を通じた民間による販売システムづくり
	②	「海の京都」丹後・食の王国の魅力発信に向け、ビジネス連携推進会議や関係機関と連携し、特A評価12回獲得の丹後産コシヒカリや丹後の豊かな食材を原料にしたこだわりの加工品を、京阪神や新たに中京圏等でPR・販促活動することにより地域ブランディングを推進します。 <「丹後のたからもの展」等の物産展及び商談会の開催回数 10回(㊤実績 11回)>
	③	丹後産茶の6次産業化推進による経営強化、知名度向上に向けたPR活動を展開し、お茶の販売強化を行います。 <売上高 600万円(㊤実績 518万円)>

運営目標

4 和牛振興基地をめざす碓高原牧場で和牛子牛の生産拡大を推進します。

4	丹後地域振興計画	第1①「丹後地域の活性化を牽引する観光振興」
達成手段 (数値目標)	①	遺伝能力の高い子牛の安定供給と優良受精卵供給増のため優良雌牛の確保を図るとともに、「和牛子牛育成マニュアル」による付加価値を高めた子牛を育成し、府内肥育農家の良質な牛肉生産を支援します。 <子牛出荷頭数 70頭(㊤実績 67頭)、生産頭数 70頭(㊤実績 81頭)、妊娠頭数 75頭(㊤実績 97頭)> <優良和牛雌牛の確保 8頭以上(㊤実績 0頭)>
	②	和牛受精卵(胚)のPR(供胚牛紹介)や受精卵移植未実施農家での利用や農家採胚を進め、受精卵の供給を図るとともに、和牛妊娠牛譲渡を実施します。 <受精卵譲渡 300個(㊤実績 277頭)> <和牛妊娠牛譲渡 13頭(㊤実績 12頭)>

5 丹後の特色をいかした新たな商品の開発や食関連ビジネスを創出します。

計画区分	丹後地域振興計画	第1①「丹後地域の活性化を牽引する観光振興」
達成手段 (数値目標)	①	丹後地域アグリネットを活用した農業ビジネスの掘り起こしや農商工連携応援ファンド等により、丹後の食を活かした異業種交流や6次産業化、ソーシャルビジネスなどの取組を支援します。 <取組支援件数 20件(㊤実績 20件)>
	②	食関連ビジネスの拡大のため、地域の10次産業化拠点である丹後王国「食のみやこ」において地域の食材を生かした新しい商品の開発を支援します。 <丹後王国「食のみやこ」における新たな商品等の開発件数 7件(㊤新規)>
	③	地域の農林水産物の特性を活かした加工品の開発を進めます。 <試作品支援数 5品(㊤新規)>
	④	加工品や農産物をはじめ地域の特産物のビジネスチャンスを生み出し販路開拓を支援します。 <都市圏等での商談会等への出展による販売促進の支援 4回(㊤実績 5回)>
	⑤	鹿・猪肉の有効利用を推進するため、食資源としての普及PR活動を進めます。 <管内提供店舗 25店舗(㊤実績 20店舗)> <普及PR 2回(㊤実績 2回)>

6 丹後王国「食のみやこ」における10次産業化を推進します。

計画区分	丹後地域振興計画	第1①「丹後地域の活性化を牽引する観光振興」
達成手段 (数値目標)	①	「海の京都」とも連携し、丹後地域の「食」の魅力発信により、丹後観光の拠点化を進めます。 <丹後王国「食のみやこ」の入園者数 50万人(㊤実績 105,107人)>
	②	栽培から調理、サービス、加工・販売等までの研修による地域の「食」を支える人材育成を展開します。 <実践学舎生や地元農家・グループ等の料理開発や加工研修による人材育成 50人(㊤新規)> <地域の将来を担う高校生等による「高校生レストラン」への参画高校数 7校(㊤実績 7校)>

運営目標

7 新たな就農者や漁業就業者を確保するなど、担い手の確保育成や農林水産業の生産基盤を整備します。

計画区分	丹後地域振興計画	第1①「丹後地域の活性化を牽引する観光振興」
達成手段 (数値目標)	①	丹後農業実践型学舎生の技能向上・経営力向上への指導と合わせ、就農を見据えた支援をします。 ＜効率的なカリキュラム運営、機械整備、定住家屋の確保、地域の農家や農業法人との交流・研修の実施 15回(⑳新規)＞
	②	大規模畑作経営を目指す丹後農業実践型学舎の運営を支援するため、丹後国営開発農地の営農条件整備を進めます。 ＜整備面積 12ha(㉑実績 19.3ha)＞
	③	農業を支える多様な担い手を確保育成するとともに、新規就農者を育成するための農業法人の担い手育成機能の強化を支援します。 ＜新たな中核的農家の育成数 20人(㉑実績 10人)＞ ＜新規就農者数 30人(㉑実績 30人)＞ ＜作目・販売先等の就農のイメージを明確に描ける受講者の育成割合 70%(㉒新規)＞ ＜新規就農希望者の研修を行う法人数 8法人(㉑実績 8法人)＞ ＜米価低迷の中で、有利な品目として転換した京野菜、飼料米、花き等の売上げが増加する法人 2社(㉑実績 1社)＞ 丹後農業実践型学舎卒業生の経営の安定化を支援
	④	「海の民学舎」を開校し、新規就業希望者の実践研修や若手・中堅漁業者の経営研修を行い、漁業の担い手の育成・確保を進めます。 ＜新規漁業就業者数 45人(㉑実績 49人)＞
	⑤	丹後地域特産物育成協議会と連携し、黒大豆枝豆の規模拡大を目指す大規模担い手を育成します。 ＜30a以上の生産者 8戸(㉑実績 6戸)＞ ＜みず菜、黒大豆枝豆、九条ねぎ、小ギクの新規栽培者を各4人以上拡大(㉑実績 みず菜4人、黒大豆枝豆4人、九条ねぎ5人、小ギク4人)＞
	⑥	茶産地基盤確立に向け、収益性を向上させ、優良茶園化を推進します。 ＜モデル茶園10a当たりの粗収益 400,000円(㉑実績 180,980円)＞
	⑦	短形ゴボウに続く国営開発農地での特産物を育成するため、これまでの実証品目から絞り込んだ品目の栽培を推進します。 ＜西洋ニンジン、小玉スイカの合計栽培面積 1.5haの増(㉑実績 6ha)＞
	⑧	沿岸域の環境保全を図るとともにアワビ、サザエや稚魚を育む藻場の造成を進めます。

運営目標

8 平成30年度に野生鳥獣による農産物被害額をほぼ半減(50百万円)します。(平成25年度基準 90百万円)

計画区分 丹後地域振興計画 第1①「丹後地域の活性化を牽引する観光振興」

達成手段 (数値目標)	①	地域ぐるみで取り組む防除対策支援により、野生鳥獣の被害額を減額します。 <農作物被害額 60百万円以下(26実績 61百万円)> <地域からの要望が強い激甚な被害地解消のための防護柵の設置 60km(26実績 182km)> <ニホンザルの群れの個体数調整の実施 新規1群(26実績 2群)> モデル集落取組事例を被害の大きい集落にチラシ等で紹介し、被害対策を推進
	②	有害鳥獣の安定的な捕獲体制を確保します。 <新規免許取得者 20人(26実績 41人)>
	③	シカ等の生息数削減のための捕獲を推進します。 <狩猟・有害による捕獲頭数 シカ5,000頭(26実績 5,426頭)> <捕獲講習会の開催 1回(26実績 1回)>
	④	複数猟友会の連携による広域捕獲を推進します。 <兵庫県との連携による広域捕獲 2回(26実績 2回)> <管内の猟友会の連携による広域捕獲 3回(26実績 3回)>

9 「丹後半島一周・京都の新海遊ルート」の完成等に向けた整備を推進します。

計画区分 丹後地域振興計画 第1①「丹後地域の活性化を牽引する観光振興」

達成手段 (数値目標)	①	丹後半島に点在する『海の京都』戦略拠点である「天橋立」「伊根の舟屋」「夕日ヶ浦」や、「経ヶ岬」「丹後松島」等の景観地を大型バスで周遊することを可能にする国道178号の整備を推進します。 蒲入バイパス[H27年度一部供用]、上野平バイパス[事業促進]、木津バイパス[用地買収着手]、里波見工区[橋梁着手] <法面防災工事の促進 4箇所発注、2箇所完成(26実績 4箇所発注、4箇所完成)>
	②	山陰近畿自動車道(大宮森本IC)から、丹後王国「食のみやこ」やジオパーク拠点「立岩・琴引浜」等の丹後半島の観光拠点へのアクセス道路の整備を図ります。 国道482号(丹後弥栄道路:弥栄工区、丹後工区)【事業促進】、(大山地区)【事業促進】、 網野峰山線(郷地区)【橋梁工着手】、掛津峰山線(丹波工区)【用地買収着手】

10 エコノミック・ガーデニングの手法を用いて、中小企業の経営革新等に向けた取り組みを支援します。

計画区分 丹後地域振興計画 第1②「ものづくり産業等地域産業の振興」

達成手段 (数値目標)	①	「中小企業技術応援隊」と「中小企業応援隊」の連携によるオール丹後体制で、中小企業者の経営課題や企業のニーズに応じ、事業主の立場に立って総合的に経営をサポートします。 <中小企業応援隊による伴走支援件数 6,000件(26実績 5,990件)> <職員応援隊等による経営サポート 200件(26実績 190件)>
	②	各種支援策を活用して、新たな分野・新事業に挑戦する中小企業を支援します。 <支援事業採択件数 15件(26実績 13件)>

運営目標

11 「丹後・知恵のものづくりパーク」における人材育成と施設の有効活用を推進し、地域のものづくりを多角的に支援します。

計画区分	丹後地域振興計画	第1②「ものづくり産業等地域産業の振興」
達成手段 (数値目標)	①	織物、機械金属の技術相談等を通じた在職者の人材育成を行います。 ＜延べ5,000人(㊦実績 3,892人)＞
	②	3Dプリンタや三次元座標測定機等を活用したデジタルデザイン力向上のための研修など各種研修会、講習会、研究会等を、テーマや開催時期(夜間や土日の開催も含め)など企業ニーズや受講者ニーズ、地域の事情などを的確に反映し、(公財)京都産業21や業界団体と連携し実施します。 ＜受講者数 延べ3,500人(㊦実績 3,405人)＞
	③	機械加工などの技能検定のための受検対策講座を開催し、技術力の向上を支援します。 ＜講座理解度95%以上(㊦実績 100%)＞

12 丹後織物・機械金属のブランド力の向上とビジネスモデルを推進します。

計画区分	丹後地域振興計画	第1②「ものづくり産業等地域産業の振興」
達成手段 (数値目標)	①	丹後ブランドの新たな展開を図るため、外部デザイナーの指導のもと競争力ある丹後織物ブランドの製品開発や販路開拓に向け、企業支援を行います。 ＜支援企業数 40社(㊦実績 38社)＞
	②	「海の京都」等と連携し「丹後のたからもの展」などの展示商談会を東京、大阪などの大消費地で開催し、丹後ブランドの販路拡大とビジネスモデル構築につなげます。 ＜展示商談会 22回開催(㊦実績 20回)＞
	③	炭素繊維強化プラスチック等の実用化研究や試作を企業と共同して進めるとともに、機械金属と織物のものづくり企業の新たな分野へのチャレンジに向けた技術的課題に対して支援します。 ＜試作等事業支援件数 8件(㊦実績 8件)＞
	④	伝統産業生産基盤支援事業等を活用し、丹後織物企業等の経営支援に取り組みます。
	⑤	ジェトロ等と連携し丹後織物の技術を活かすことにより、海外でも受け入れられる製品を新たに開発し、海外への販路拡大に意欲のある企業を支援します。 ＜支援企業数 6社(㊦実績 5社)＞

運営目標

13 U・Iターン等を推進し、丹後地域の産業を担う人材の確保・育成を図ります。

計画区分	丹後地域振興計画	第1②「ものづくり産業等地域産業の振興」
達成手段 (数値目標)	①	<p>北京都ジョブパーク等と連携し、就職説明会などを開催し、丹後地域へのU・Iターン促進及び就職支援を実施します。                  &lt;U・Iターン就業者数 110人(㉔実績 104人)&gt;</p>
	②	<p>オール丹後体制で、若年従業員等のスキルアップ研修を実施することにより、職場への定着を支援します。                  &lt;改善目標 10社 10人(㉗新規)&gt;</p>
	③	<p>求人と求職のミスマッチの解消を図るため、ハローワークや北京都ジョブパーク等と連携し、就職面接会や都市部でのフェア等を開催し、就業支援を行います。                  &lt;参加企業社数 延べ300社 参加者数 700人(㉔実績 281社 616人)&gt;                  北京都ジョブパークと連携した即戦力となる「観光分野」「ものづくり分野」「福祉・介護分野」の人材確保や担い手の育成を実施</p>
	④	<p>市町が行う空き家改修への支援を通じた都市部からの移住定住や未婚者の出会いの場を提供する「コン活」に取り組む地域を支援します。                  &lt;空き家改修 10戸(㉔実績 9戸)&gt;                  &lt;コン活支援 4箇所(㉔実績 4箇所)&gt;</p>

14 山陰海岸ジオパークの世界ジオパーク再認定を目指すとともに、地域住民を主体とした取組を通じて、学術・観光資源として活用し、丹後の魅力発信につなげます。

計画区分	丹後地域振興計画	第2「環境と文化の伝承」
達成手段 (数値目標)	①	<p>地域住民の意見も反映したモニターツアーやそれに伴う情報発信により、丹後地域のジオパークへの誘客を促進します。                  &lt;体験受入事業者と連携した体験プログラム 10メニュー(㉗新規)&gt;(再掲)                  &lt;中京圏向けファミトリップ・商談会の実施 旅行会社5社、雑誌社3社(㉗新規)&gt;(再掲)</p>
	②	<p>地域住民の意見を反映した丹後地域のジオパークの魅力づくりなどにより、丹後地域のジオパークへの誘客を図ります。                  「白南風荘跡地」の利活用を検討するため、専門業者と地域住民を交えたコンセプト案を作成                  &lt;アジア太平洋ジオパークネットワーク(APGN)シンポジウムのプレイベントとして開催されるJGNガイドフォーラム参加者 200人(㉗新規)&gt;</p>
	③	<p>次回世界ジオパークネットワークの加盟再認定に向けて、エリア内の道路標識などの整備を実施します。                  &lt;ジオパークのPRとともに、主要道から効果的に案内誘導するための道路案内標識を設置 5箇所(㉔実績 4箇所)&gt;</p>

15 天橋立の世界文化遺産をめざした取組と阿蘇海等の閉鎖性水域の環境改善を推進します。

計画区分	丹後地域振興計画	第2「環境と文化の伝承」
達成手段 (数値目標)	①	<p>行政と地域が一体となった松並木保全や海岸の清掃を行うとともに、広葉樹の伐採を実施するなど白砂青松の天の橋立復活を目指します。                  &lt;天橋立まもり隊などの活動延べ人数 4,500人(㉔実績 4,058人)&gt;                  試験伐採の検証結果をもとに、広葉樹の伐採を継続的に実施</p>
	②	<p>「阿蘇海フェア」や上流と沿岸の交流事業、地域外企業と連携した清掃など阿蘇海流域の環境改善に係る意識醸成を推進します。                  &lt;関係市町における阿蘇海流域の環境保全に関する条例の制定支援 2市町(㉗新規)&gt;                  &lt;阿蘇海流域環境改善に係る連携事業 7事業(㉔実績 7事業)&gt;</p>

運営目標

16 丹後地域の森林を守り育てる取組を推進します。

計画区分	丹後地域振興計画	第2「環境と文化の伝承」
達成手段 (数値目標)	①	森林施業の集約化と未利用間伐材の有効利用を推進します。 ＜森林経営計画面積 新規策定面積 170ha(㊤実績 199ha) 搬出間伐材量 3,000m3(㊤実績 2,850m3)＞
	②	府内産木材の利用拡大を図ります。 ＜緑の交付金制度を活用した木材使用量 350m3(㊤実績352m3)＞ ＜緑の事業体新規登録 1事業体(㊤実績 1事業体)＞ ＜府内産木材利用促進会議の開催 2回(㊤実績 1回)＞
	③	地域の森林を地域全体で支えるモデルフォレスト運動の取組を支援します。 ＜推進地区 8地区 参加人員 1,000人(㊤実績 8地区 1,017人)＞
	④	地域と協働した海岸林再生を図ります。 ＜整備面積 19ha(㊤実績 18ha)＞

17 丹後の優れた自然環境や生活環境を守り、安心して生活できる地域づくりを進めます。

計画区分	丹後地域振興計画	第2「環境と文化の伝承」
達成手段 (数値目標)	①	漂着ごみの回収・適正処理を実施し、良好な海水浴場及び景勝地である海岸地域を保全します。 ＜実施箇所 25箇所(㊤実績 24箇所)＞ 府民や市町と連携し、海岸漂着物発生抑制を目的とした調査や啓発活動を実施 海岸及び河川流域の不法投棄防止パトロールを実施
	②	市町及び保健所広報誌での不法投棄防止啓発を積極的に行うとともに、監視パトロールでの早期発見、迅速かつ厳正な対処に努め、産業廃棄物の不法投棄・不適正焼却・不適正処理を根絶します。

18 交流人口の拡大を図るために地域活性化につながる「スポーツ観光」を積極的に支援します。

計画区分	丹後地域振興計画	第2「環境と文化の伝承」
達成手段 (数値目標)	①	地域の関係団体やスポーツ関連団体等と広く協働し、地域の特性をいかしたスポーツ観光の聖地づくりやそれらを通じた個性あるまちづくりを推進し、交流人口の増加や地域活性化を図ります。 京丹後市内でのプラットフォームづくり支援 スポーツコミッションの設立 丹後管内各市町との広域連携の場づくり ＜TANTANロングライド 参加者数 1,500人(㊤実績 1,298人)＞



運営目標

19 地域における防災力の向上や地域の互助による救急救助体制づくりを積極的に支援します。

計画区分

丹後地域振興計画

第3①「災害対策の強化と安心・安全の構築」

達成手段  
(数値目標)

- |   |  |
|---|--|
| ① | 管内市町の地域防災計画の見直しを積極的に支援し、地域における大規模災害時等の迅速な対応力の向上を図ります。<br>＜市町地域防災計画の見直しを支援 丹後地域全4市町(㊤実績 4市町)＞<br>防災訓練等の実施により、地域防災計画の検証や災害時における地域の対応力を向上<br>原子力災害に係る市町域を超えた住民避難等の「府民参加型」広域避難訓練の実施<br>津波避難訓練や講習会の開催など、丹後地域防災訓練の実施 |
| ② | 消防署からの遠隔地域で、消防団や市町と連携して、災害時の救助や傷病者などへの救急救助体制を確立する『ふるさとレスキュー』の取組を支援します。<br>＜支援地域 7地域(新規1地域、継続6地域)(㊤実績 6地域(新規1地域、継続5地域))＞  |
| ③ | 住民の防災意識向上、災害の記憶を風化させない取組を推進します。<br>地域における防災力の向上や自らが身を守るための的確な情報を得る方法を提供するため、要援護者施設等への個別訪問等の啓発活動を実施<br>砂防ボランティア等と連携して小学校等において出前講座を継続的に推進<br>平成16年台風第23号の災害記録誌(リーフレット)を発行、小学生を中心に配布し、家庭内での話題づくりや防災意識の向上に利用       |
| ④ | 住民の迅速な避難活動を支援するため、水位周知河川等の追加指定を行い、洪水時の警戒避難態勢を強化します。<br>水位周知予定河川:筒川   |

運営目標

20 河川整備や土砂災害対策等安心安全のまちづくりを推進します。

計画区分	丹後地域振興計画	第3①「災害対策の強化と安心・安全の構築」
達成手段 (数値目標)	①	暮らしの安全を支えるため、浸水被害が頻発している河川の改修工事を推進します。 加悦奥川[大橋着手]、福田川[苗代橋完成]、新庄川、鳥取川、小西川
	②	暮らしの安心・安全を支える土砂災害対策工事を推進(砂防・地すべり事業、急傾斜事業)し、防災・減災を図ります。 ＜土砂災害の発生若しくは恐れがある9箇所の砂防・地すべり事業の推進(うち1箇所工事着手)(㉔実績 10箇所)＞ ＜崖崩れの発生若しくは恐れがある7箇所の急傾斜事業の推進(うち1箇所工事着手)(㉔実績 5箇所)＞
	③	土砂災害のおそれがある区域を明確にし、警戒避難態勢の整備を進め、住民の安心・安全を支えます。 ＜土砂災害警戒区域等を165箇所指定(累積指定箇所数 3,013箇所 指定率100%)(㉔実績 549箇所指定 指定率94.5%)＞
	④	災害と雪に強い道路ネットワークを整備し、災害時の避難・救助や物資の安定した供給が図られるようにします。 緊急輸送道路の整備を促進 国道178号(蒲入バイパス)(再掲)、(上野平バイパス)(再掲)、国道482号(丹後弥栄道路)(再掲)、 国道312号(橋爪地区)、(野中地区) 緊急輸送道路である国道312号(橋爪橋)、網野峰山線(岩止橋)の耐震対策の実施 ＜緊急輸送路以外の橋梁(50m以上)の耐震補強推進 久美浜湊宮浦明線(湊大橋)など 1橋完了、1橋推進(㉔実績 2橋推進)＞ 冬場の幹線道路の安全性を向上させる工事の推進 国道312号(三重:堆雪帯)[工事着手]、国道482号(尉ヶ畑:消雪パイプ)[工事促進]、≪宮津養父線(岩屋峠)[用地買収着手]≫
	⑤	建築物の安心・安全を確保します。 建築物の安心・安全の確保、大規模地震に備えた住宅の耐震対策の推進 府・市町が緊密な連携をとり、広報活動の強化により耐震診断の受診を推進し、診断済家屋に対して、簡易型改修を含めた耐震改修制度の案内を行うとともに、耐震診断結果の個別説明に職員が同席するなど、木造住宅耐震改修(補助)の促進を図る。 ＜耐震診断 70戸(㉔実績 41戸)＞ ＜耐震改修(簡易型耐震改修を含め) 30戸(㉔実績 13戸)＞ 府民向けに、市町及び建築関係団体との協働による民間木造住宅等の耐震対策の普及や啓発を目的として耐震フェアを開催
	⑥	森林の適正管理とため池や農業水利施設の診断と改修による総合的防災対策を推進します。 平成25年台風18号で被害を受けた地区(山地・溪流)において治山事業による重点的な復旧工事推進 ＜台風18号山地災害被害額 311,000千円について、復旧進捗率 60%(㉔実績 復旧進捗率34%)＞ ＜災害復旧治山工事推進箇所3箇所 うち2箇所の復旧推進(㉔実績 復旧完了1箇所)＞ ＜ため池安心安全マップ 1箇所(㉔新規)＞
	⑦	漁港、海岸施設の老朽化対策、長寿命化を進めます。 ＜老朽化の診断 府営漁港 1港(㉔新規)＞

運営目標

21 府立医科大学附属北部医療センターを「北京都安心医療拠点」として丹後地域の病院や診療所との機能分化、連携体制の整備を支援します。

計画区分	丹後地域振興計画	第3②「府民安心のまちづくり」
達成手段 (数値目標)	①	在宅療養の体制の充実に向けた多職種連携を強化します。 病院と訪問看護、介護福祉施設等の連携を強化し、在宅療養の質を向上 テレビ会議システムを活用した専門知識を習得する研修や事例研究を通して介護スタッフのスキルアップを支援
	②	府立医科大学附属北部医療センター等と連携し、丹後管内の医療提供体制の充実・医療機能の整備に努めます。 北部医療センターのがん診療連携拠点をめざし、リニアック整備等がん医療提供体制の充実強化 北部医療センターの医師派遣機能の充実 京都府北部看護職支援センターや北京都ジョブパークと連携した看護職確保対策の推進
	③	北部医療センターの「安心医療拠点にふさわしい機能」のあり方について検討します。 「北部医療センター安心医療拠点整備検討委員会(仮称)」の設置、検討
	④	北部医療センターを拠点に、若手医師の育成・定着支援を実施し、医療提供体制の充実・強化に努めます。 北部公的病院における研修・研究用医療機器の共同利用の促進等による医師確保 <健康長寿コホート研究(丹後生き生き長寿研究)の取組みを支援し、健康長寿づくりを推進(コホート協力 4市町)(⑳実績 2市町)>
	⑤	地域医療構想(地域医療ビジョン)を検討し、医療機能の分化と連携を推進します。 関係機関による地域医療構想調整会議を設置、将来の病床数の必要量を達成するための方策等について協議

22 「たんご健康長寿日本一」を推進します。

計画区分	丹後地域振興計画	第3②「府民安心のまちづくり」
達成手段 (数値目標)	①	がんの予防と早期発見・早期治療を進めるためにがん検診の受診勧奨を推進します。 <がん検診受診率 30%以上(⑳実績 18.2%~38.3%)> 市町及び事業所等と連携して、がん検診の受診率向上に向けたキャンペーン等の展開 <がんの知識の普及に向けた学校や事業所における「生命のがん教育」の実施 10箇所(㉑実績 10箇所)>
	②	壮年期から中年期層への生活習慣病の予防と重度化防止を進めます。 <「きょうと健康づくり実践企業認証制度」の認証 5事業所(㉒新規)> たばこの害の知識の普及を目指し、キャンペーンや防煙研修会等の実施 市町村が実施する健康ポイント事業や各団体等の健康づくり事業への支援 スワンデーの取組を管内全公所に拡大
	③	健康満丹プログラムの普及など介護予防対策を講じて、健康長寿の地域づくりを推進します。 丹後保健所が25~26年度に養成した90名の健康満丹リーダーと連携し、体操や脳トレ、口腔ケア等の総合プログラム「健康満丹プログラム」の管内全域への普及を図り介護予防を推進 <健康満丹リーダー等による講座の開催 参加者1,000人(㉓新規)> 長寿者が多い丹後地域において、長寿の要因や実態を解明する「健康長寿コホート研究」を北部医療センターと連携して実施し、介護予防対策を充実

運営目標

23 高齢者が安心して地域で生活できる地域包括ケア体制の充実・強化を図ります。

計画区分	丹後地域振興計画	第3②「府民安心のまちづくり」
達成手段 (数値目標)	①	「認知症疾患医療センター(北部医療センター)」と連携し、認知症対策を推進します。 <初期認知症対応型カフェの設置・事業支援 18箇所(26実績 16箇所)> <若年性認知症相談会の実施 3回(26実績 2回)> <丹後地域オレンジロードつなげ隊との協働による認知症の周知啓発活動の展開 声かけ体験事業の実施 3箇所(26実績 1箇所)> <徘徊搜索訓練の実施 3回(26実績 3回)> <認知症サポーターの養成 500人(26実績 1,690人)>
	②	多職種協働による在宅医療・介護サービスの充実強化を図ります。 <住み慣れた地域で人生の最期を迎えられるよう、看取り対策を推進 家族支援交流会の開催 2箇所(27新規)> 多職種連携による事例検討会等ケア会議の開催を支援
	③	地域リハビリテーション支援センターとの連携を図り、地域リハビリの支援体制を強化します。 地域リハビリや介護に従事する職員のスキルアップ、訪問リハビリ等地域リハビリの対応力向上
	④	高齢者を支える社会基盤整備を支援します。 <特別養護老人ホーム整備 2箇所(26実績 2箇所)> <地域密着型小規模多機能施設整備 1箇所(26実績 3箇所)>
	⑤	京都ジョブパークと連携するとともに、京都府北部福祉人材養成システムや福祉人材認証育成制度等による福祉人材の確保と定着支援を行います。 <就業者数 150人(27新規)>

24 地域ぐるみの少子化対策を推進し、安心して子育てができる地域づくりを進めます。

計画区分	丹後地域振興計画	第3②「府民安心のまちづくり」
達成手段 (数値目標)	①	行政や各種団体等で構成する「丹後地域子育て支援ネットワーク」(65団体)等と連携し、子育てに不安を抱えるお母さん方にきめこまやかなサポートを実施します。 <「丹後子育て出前ひろば(仮称)」等の開催 20回(27新規)> 「丹育ネット(仮称)」の設立・運営支援 <「丹後はぐみフェスティバル」の開催 1回(27新規)>
	②	管内中・高校生を対象に「親」になるための子育て体験学習を実施します。 <「将来の親」子育て教育事業の実施 8回(27新規)>
	③	発達障害児等とその親に対する支援の充実・強化とともに、支援者の体制強化を図ります。 子どもクリニックや発達相談等によるスクリーニングの事業の充実を図るとともに、ほめ方教室やSST(ソーシャルスキルトレーニング)などの事後支援を実施 <ほめ方教室等参加者 対象者の5割以上(26実績 5割)> <発達障害関連研修会の開催 4回(27新規)>
	④	病気のお子さんを見守る環境整備づくりを支援します。 病後児保育の施設整備支援 子育て支援団体と連携した見守り体制の整備

運営目標

25 障害者の自立と社会参加を支援します。

計画区分	丹後地域振興計画	第3②「府民安心のまちづくり」
達成手段 (数値目標)	①	地域で自立した生活を行うためのグループホームの整備を支援します。 ＜グループホームの新規開設数 1箇所(㉔実績 1箇所)＞
	②	障害者就業・生活支援センターを中心に、関係団体、市町と連携し、障害者の就労と定着を支援します。 障害者雇用率2%の達成を目指し、北京都ジョブパークと連携して積極的に対象企業を訪問し啓発を実施 ＜圏域の就職人数 30人以上(㉔実績 23人)＞
	③	工賃アップをめざした新商品開発と販売促進を支援します。 ＜新商品の開発 10品目(㉔新規)＞

26 自殺のサインを見逃さない、自殺のないまちづくりを推進します。

計画区分	丹後地域振興計画	第3②「府民安心のまちづくり」
達成手段 (数値目標)	①	「みんなで支えあう丹後こころの支援ネットワーク」の取組を通じて、管内での自殺者数を減少させます。 ＜管内自殺者 26年(24人)より減少(㉔実績 24人)＞ ネットワークを核とした効果的な広報・啓発、相談会の実施 自殺未遂者ケアシステムの充実強化 ＜気軽に立ち寄り弱音を吐ける居場所づくり 1箇所(㉔実績 1箇所)＞ ＜うつスクリーニングの実施 3回(㉔実績3回)＞ 職域のメンタルヘルスを実施し、うつ対策を通じて自殺対策を推進
	②	悩みなどに気づき、つなぐゲートキーパーの人材養成を図ります。 ＜ゲートキーパー研修 受講者1,500人(㉔実績 1,383人)＞
	③	自殺やうつ病等に対する正しい理解の促進を図ります。 ＜小中学校における「いじめ予防教育」の実施 6校(㉔実績 1校)＞

27 家畜伝染病防疫対策を徹底するとともに、感染症の予防・拡大防止に努めます。

計画区分	丹後地域振興計画	第3②「府民安心のまちづくり」
達成手段 (数値目標)	①	鳥インフルエンザ、口蹄疫等海外悪性家畜伝染病のまん延を防止します。 ＜海外悪性家畜伝染病まん延防止状況 発生0件(㉔実績 0件)＞
	②	家畜伝染病発生予防対策を徹底します。 ＜飼養衛生管理点検指導を偶蹄類2回、養鶏(千羽以上)4回、(自家用)1回実施(㉔実績 偶蹄類2回、養鶏(千羽以上)4回、(自家用)1回)＞ 鳥インフルエンザ侵入監視としてサーベイランスを四半期毎、モニタリングを3採卵養鶏農家について毎月実施
	③	家畜伝染病防疫体制を確保し、万が一の発生に備えます。 ＜総合的な実地演習の実施 1回(㉔実績 1回)＞ ＜家畜伝染病の正しい知識の普及・啓発のために出前語らいを実施 1回(㉔実績 1回)＞
	④	重大な感染症の発生に備え、地元医師会、市町村、医療機関等の関係機関と協力して体制整備を進めます。 ＜感染症対応訓練の実施 3回(㉔新規)＞

運営目標

28 安心・安全な消費生活の実現を図ります。

計画区分	丹後地域振興計画	第3②「府民安心のまちづくり」
達成手段 (数値目標)	① 消費生活講座未実施の地域・団体等を中心に積極的に働きかけて、新たな消費生活講座を行い、被害の未然防止を図ります。 <新規受講団体数 10団体(㊟実績 8団体)>	

29 TPY-2レーダー(Xバンド・レーダー)施設について、地域住民の安心・安全の確保に向けて、課題の検証と対応に取り組みます。

計画区分	丹後地域振興計画	第3②「府民安心のまちづくり」
達成手段 (数値目標)	① 地域交通の安心・安全を確保するため、道路整備を推進します。 国道178号(上野平バイパス)(再掲)、国道482号(丹後弥栄道路丹後工区)(再掲)、浜丹後線(宮バイパス)[事業着手]	
	② 地域住民の安心・安全を確保するため、地元区長等と情報交換を行うなど住民の意向を把握し、安心・安全対策連絡会等を通じて、京丹後市と共同して米軍・国が適切な対応を行うように働きかけます。	

30 遊泳者及びプレジャーボートの事故防止等により、海の利用についての安心・安全な環境づくりを推進します。

計画区分	丹後地域振興計画	第3②「府民安心のまちづくり」
達成手段 (数値目標)	① 市町及び地元警察署と連携して「京都府遊泳者及びプレジャーボートの事故の防止に関する条例」の周知を図り、海水浴場の安心・安全な環境づくりを推進します。	

31 地域活動団体をはじめとする住民との協働体制のもとで、新たな丹後地域を創造します。

計画区分	丹後地域振興計画	第4「府民がいきいきと暮らせる地域づくり」
達成手段 (数値目標)	① 協働コーディネーター等による相談支援・情報共有や地域力再生プロジェクト支援事業による支援を通じて、地域力再生団体を育成します。 <支援団体数 延べ230団体(㊟実績 207団体)> <管内のNPO団体等が自らの取組を紹介し、団体間の交流を深める地域力再生イベントの開催 参加者 100人(㊟実績 90人)> <インターネット等を通じ、地域団体のイベントや活動等を発信 250件(㊟実績 207件)>	

運営目標

32 若者の丹後地域への愛着心を醸成する「TOMORROW丹後プロジェクト」の推進により、丹後が誇る文化を次代へつなぎます。

計画区分	丹後地域振興計画	第4「府民がいきいきと暮らせる地域づくり」
達成手段 (数値目標)	①	国民文化祭以来開催している「丹後・食の王国 食と文化の祭典」等の企画段階から高校生に参画してもらうなど、次代を担う若者の丹後地域への愛着心を醸成する「TOMORROW丹後プロジェクト」を推進します。 <「丹後・食の王国 食と文化の祭典」等 参加者 4,800人(26実績 4,393人)> <「丹後・食の王国 食と文化の祭典」等 参画高校生 200人(26実績 196人)>
	②	市と共同して文化の仕掛人を配置し、地域資源を活用した文化芸術活動等を企画、運営することで、地域の文化活動を活性化させます。 <文化の仕掛人が中心となって若者が参画した地域活性化の企画等 2回(27新規)>
	③	小、中、高校生が、丹後の多様な魅力について学び、発表会やボランティアガイド(語り部)などを体験する機会を提供します。 <「TANGO魅力伝え隊」実施校 7校(27新規)>
	④	子どもたちの将来の夢や目的意識、挑戦する意欲を醸成するため、グローバルに活躍をしている丹後にゆかりのある著名人などによる講演会や体験教室を実施し、学校では学べないキャリア教育を提供します。 <「丹後の子どもドリームプロジェクト」の開催 4回(27新規)>

33 命の里の再生とふるさと保全・農村再生活動を推進します。

計画区分	丹後地域振興計画	第4「府民がいきいきと暮らせる地域づくり」
達成手段 (数値目標)	①	地域ぐるみで農山漁村地域の生産基盤や環境を守る活動を推進します。 <多面的機能支払の取組面積 4,300ha(26実績 4,200ha)>
	②	里の公共員の配置により地域の課題解決を支援します。 <里の公共員の配置 3地区(26実績 3地区)>
	③	地域資源を活かした地域オリジナルの「一村一業活動」を支援します。 <明日の京都村づくり事業 4地区(26実績 5地区)>
	④	市町が行う空き家改修への支援を通じた都市部からの移住定住や未婚者の出会いの場を提供する「コン活」に取り組む地域を支援します。 <空き家改修 10戸(26実績 9戸)>(再掲) <コン活支援 4箇所(26実績 4箇所)>(再掲)

34 市町や関係機関と連携した地域住民の活動支援等により、より利用しやすい公共交通ネットワークの実現をめざすとともに丹鉄年間利用者数200万人を目指します。

計画区分	丹後地域振興計画	第4「府民がいきいきと暮らせる地域づくり」
達成手段 (数値目標)	①	駅舎トイレ改修の環境整備のほか、駅周辺の環境美化など住民参加の魅力ある駅舎づくりを支援するとともに、利便向上推進のための事業者への要望活動や鉄道ファンを対象としたイベントなどを実施し、地域住民に親しまれる鉄道づくりを進めます。 <魅力ある駅舎づくりや鉄道ファンイベント実施等の支援 20事業(26実績 18事業)>
	②	沿線住民への丹鉄利用啓発を行うとともに、丹鉄発着時刻と連動した会議時刻の設定を呼びかけるなどにより利用促進を図ります。 局広報誌等による管内全世帯への利用啓発を実施 <京都丹後鉄道利用者数 200万人(26実績 184万人)>